

# 図書館レポート 2014

## Vol.1(創刊号)

発行日:平成 27 年 5 月 31 日

大正大学附属図書館 発行

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨 3-20-1

TEL03-5394-3028 FAX03-5394-3042

E-mail lib@mail.tais.ac.jp

## 1. はじめに

平成 26 年度は事務機構の改組に伴い、図書館事務部に情報教育と学内の情報基盤整備を担う情報推進課が加わり、新たな船出の年となりました。

くしくも、巷では図書館の価値が見直されつつあり、大きな話題になった武雄市立図書館や「まち@ライブラリー」のように、これまでの図書館概念ではくれない図書館が次々と登場しています。大学においても明治大学や立教大学をはじめとして、図書館そのものが注目を集めることが少なくありません。

こうした環境下にあって、特に図書情報課の業務改善と利用者サービスの向上は急務となっており、平成 26 年度はその初年度と位置づけました。

一方、情報推進課は、旧教学支援部学務支援課の所管業務の一部であった情報基盤整備と教務部教務課の所管業務であった情報教育を統合して新たに発足したものです。本学の中期マスタープランでは、情報の一元化や IR など、ICT を活用した教学支援を掲げており、これらの実現に向けて強力な推進力を生み出す核となることが求められています。

平成 26 年度は、既に事業決定していたいくつかの工事の監理と情報教育の教育内容への関与、次の大規模インフラ整備計画策定に向けた準備を行いました。

## 2. 事業報告

### (1) 図書情報課

#### ① 戦略目標の設定

個々の職員の担当職務が本学の教育ビジョンや運営ビジョンにどのように貢献しているのかを明示することは重要です。図書館が有している機能や自らが担当している業務が大学のビジョンにどのように貢献するのかを明らかにするため、「目指せ、大学図書館日本一！」という戦略目標を設定し、これに基づくアクションプランを設定しました。

#### ② 関連諸規程の抜本的見直し

図書館の管理運営は、業務の大半が定型業務であり、通常これらは諸規程に基づいて合理的に処理されます。

しかしながら、長年関連諸規程の抜本的な見直し

なされておらず、規程と運営が乖離している、あるいは拠り所となる定めが存在しないこと等によって、利用者の立場に立ったサービスの提供を妨げているばかりではなく、業務の合理化をも妨げていたことから、次の通り関連諸規程の改正等を行いました。

改正	大正大学図書館規程
	大正大学図書調達管理規程
	大正大学図書館利用規程
制定	大正大学図書館資料収集方針
	貴重資料の閲覧・貸出及び複写に関する内規
	特別貸出に関する内規
	寄贈資料の受入に関する内規
	図書館資料の掲載に関する内規
廃止	大正大学図書館貴重資料調達管理利用規程
	大正大学寄贈資料に関する規程
	大正大学附属図書館資料除籍に関する内規

#### ③ 未整理資料の整理計画策定と処理

これまでに受贈した資料群のうち、平成 25 年度末現在整理が終了していないものが 4 群あり、これらの具体的な作業の終了目標が定められていなかったことから改めて中期の整理計画を策定し、重点的な処理を開始しました。

なお、これらの処理に要する経費は、学校法人大正大学の帰属収入が毎年ほぼ一定であることから、予算の増額は要求せず、業務の見直しにより捻出した経常的経費を振替えて対応しました。

また、これら以外にも 7 万 2,000 点におよぶ未整理資料がありますが、中期計画では対応できないことから 20 年に及ぶ超長期計画を策定し、平成 27 年度の重点施策として提案しました。

資料群	計画	進捗状況
江藤文庫	～2014	図書は完了。その他の資料は 2015 年度に改めて計画を策定
酒井文庫	2012～2016	目録の作成及び図書の装綴作業中
齋藤文庫	2014～2016	目録の作成及び図書の修理作業中
故村上正仁先生関係資料	2015	雑誌・原稿類を 2015 年度で処理予定

#### ④ 図書調達先の整理と定型業務の外注による業務の合理化

近年の本図書館運営上の課題として、資料受入業務の著しい遅滞がありました。こうした事態に至るまでにはいくつかの要因があり、そのうちの一つが多くの調達先とアナログで取引していたことがあります。

一般的に、広く流通している図書の調達はシステムを通じて可能であり、これに装綴や書誌データの作成を加えて 1 社に業務委託すれば、調達・受入の業務効率が飛躍的に向上します。

平成 26 年度は、作業の親和性を確認するため、試

験的に 3 社に委託し、遅滞はほぼ解消しました。

## ⑤図書館ツアー

平成 26 年度より第 1 類科目の一部変更に伴い新たに開設された 1 年生の全学必修科目「学びの基礎技法 B」と連動した図書館ツアーを実施しました。

## ⑥ショートプログラム

従来ラーニング・コモンズで開設していたラーニング・コモンズレファレンスとビブリオバトルをショートプログラムとして発展させ、学修支援室との連携事業に位置づけて秋学期より展開しましたが、思い通りに参加者が集まりませんでした。

要因としては、学修支援室と図書情報課とのミッションの共有(何のために開設し、どのような成果をあげるのか)が充分とは言えず、内容に一貫性が見られないこと、ほとんどが単発講座に終わってしまったこと等があげられます。

## (2)情報推進課

### ①PC 入替え

Windows XP のサポートが終了したことから、同 OS 搭載モデル 81 台の入替えを行うとともに、地域構想研究所の開設に伴う人員増のため、10 台を新たに導入しました。

また、リース切れとなったブレードサーバー 5 台を返却しました。

### ②システム関係

- ・研究費システムのカスタマイズ(個人研究費Ⅱへの対応)
- ・出張旅費システムのカスタマイズ(勘定科目の追加)
- ・T-Po のカスタマイズ(履修登録完了メール配信、現住所確認メッセージの表示)
- ・SPSS に機能追加
- ・V-Cube(10User)導入

## 3. 平成 27 年度の事業計画

### ＜大学図書館 No.1 を目指して＞

平成 27 年度は、平成 26 年度に着手した改善・改革の種を芽吹かせ、苗に育てる重要な一年と位置づけ、「利用者に満足頂けるサービスとは何か」を常に意識して、引き続き改善・改革を行います。

### (1)図書情報課

#### ＜業務の変更・改善点＞

#### ①平日日中のカウンター体制の変更

自動貸出機の増設に伴い、現在 4 名体制で行っている平日日中のカウンター業務を 3 名体制に変更します。

繁忙時は内勤のアルバイトスタッフ、職員が積極的にヘルプに入ることによってサービス低下を防止します。

#### ②同一部内意識の強化

部内の日常業務執行において、図書情報課と情報推進課の見えない壁を取払い、同一部内であるという意識を強化します。

具体的には、開館準備、レファレンス、出納、日直、土曜・開講日の祝日の当番、ガイダンス、各種企画の運営等において、両課の区分なく担当をシェアします。

また、この相互協力を有効なものとするため、課をわたって業務の依頼をする際、それぞれの上長の承諾は要せず、役付きの者が積極的にその推進に努めます。

#### ③一般図書調達先の整理

一般図書費で購入する図書の調達先を原則として一社に集約し、請負契約を締結します。これにより、調達業務を効率化します。

なお、一部継続分、見計らい、特殊分野の図書及び古書の調達は、これまで通り各書店から適時購入します。

#### ④一般図書費の執行方法の変更

月次で行っている一般図書費の支払い承認を廃止し、年度初めに一括して執行承認を受ける方式に変更します。これにより、支払処理が終わったものから順次請求書の発行依頼を行って規定払手続をすることができるようになり、月末の支払処理が円滑になります。

また、常に新規購入図書の支払額と資産額が一致することになることから、処理ミスの早期発見と決算時の業務効率をアップします。

### ＜サービスの向上＞

#### ①ILL サービスを無料化します

これまで、利用者が ILL サービスを利用した場合、カウンターで実費を徴収していましたが、4 月 1 日よりこれを無料化します。

#### ②自動貸出機が新たに稼働します

新たに 2 階、3 階に自動貸出機を設置し、利用者に対しこれらの利用を積極的に推進します。これにより、カウンターでの貸出処理業務を 30%以上削減(最終目標は 90%以上)します。

また、利用実績に基づく排架の見直しを順次行い、地下書庫からの出納作業を削減します。この二つにより、利用者はカウンターに寄ることなく貸出、閲覧できる資料が広がります。

なお、これに伴い 1 階に設置していた自動貸出機はサービスの提供を終了します。

### ③無線 LAN サービスを提供します

13 号館 1 階～4 階で無線 LAN サービスの提供を開始し、図書館内でも高速無線 LAN が利用できるようになります。

### ④情報検索用タブレットを設置します

無線 LAN サービスの提供開始に伴い、2 階 3 階に情報検索用タブレット各 2 台を設置します。併せて、タブレットの館内貸出サービスも開始します。

### ⑤タッチパネルディスプレイを設置します

カウンター前に 60 インチのタッチパネルディスプレイを設置し、Library Press Display を中心とする情報提供サービスを開始します。

Library Press Display とは、Press Reader 社が提供するデータベースで、世界約 100 ヶ国、56 ヶ国語で発行されている 2,000 紙以上の新聞をフルカラー・フルイメージで読むことが可能となるサービスです。各新聞は発行日当日にアップロードされ、最大で 90 日分がアーカイブされています。

なお、学内ネットワークに接続していれば、デバイスの種類を問わずどの端末からもこのデータベースに接続することができるほか、アプリを利用して記事をダウンロードできるため、授業等での活用も可能となります。

### ⑥バスケットを配置します

たくさんの図書を借りる時に便利なバスケットを 2 階 3 階に配置します。

### ⑦学部生への閉架書庫開放

これまで、学部生の閉架書庫利用を制限していましたが、カウンターで手続を行うことにより閉架書庫を利用できるようになります。

これにより、OPAC で事前に図書を特定し、カウンターで出納手続を行わなければならなかったものが、関連する図書を見ながら選書できるようになります。

### ⑧パスファインダーを作成・提供します

コース毎のトピックに関する資料情報をまとめたパスファインダーを作成し、利用者に提供します。

これにより、学生がコミットしている学問領域に関する資料を体系的に示すことができるようになります。

### ⑨オープンライブラリーを積極的に展開します。

<教職員対象>

豊島区内の公立中学校及び城北三区（豊島区、板橋区、北区）の高等学校教職員を対象とした通年の図書館開放を実施します。

<高校生対象>

近隣の指定校への図書館開放に加え、夏期休業期間の開館日、全ての高校生に図書館を開放します。

## (2) 情報推進課

### ①連携認証システムを導入します

現在、学生は 4 つのシステムを利用していますが、それぞれ異なったアカウントであるため、新たに連携認証システムを導入することにより利便性を向上します。

また、これにより学内のネットワークからしか利用できなかった一部システムについて、学外からも利用できるようになります。

### ②グループウェアを導入します

業務系グループウェアを導入することにより、教職員間で各種会議資料、スケジュール等の共有を行い、業務効率を向上させることを目的として、平成 27 年度上半期にヒヤリング及びベンダー選定を行い、平成 28 年度からの運用を目指します。

### ③情報基盤整備計画を策定します

本学では、平成 24 年度に全ての基幹業務システムのプライベートクラウド化とネットワーク機器及び回線の 1G 対応を終了しました。

次の機器更新を見据え、管理の効率化と一層のコストダウン及び回線の高速化を目指し、SINET への参加とネットワーク構成の大幅な見直しを行います。

情報基盤整備には多額の費用とある程度の時間を要することから、平成 33 年度の事業完了を目標として整備計画を策定します。

### ④EM・IR の実現に向けたシステム構築に着手します

入学から卒業・就職まで個々の学生を積極的に支援するエンrollment・マネジメントの実現に必要なシステムを構築します。平成 27 年度は、必要なデータの種類を特定し、システムの必須要件の洗い出しを行います。

## 4. 受贈

平成 26 年度は、404 の個人・団体より資料寄贈のお申出があり、そのうち「寄贈資料の受入に関する内規」に基づき『高麗大蔵経』44 冊（正観寺晝間玄秀様ご寄贈）を始め、14,065 冊を受入れました。

ご寄贈頂いた皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 5. 各種データ

定量的な各種データは、次の通りです。なお、特に断りのないものは、平成 27 年 3 月 31 日現在の数値です。

### ①開館日数等

開館時間	日数	時間数
9:00～17:00	71	568
9:00～18:00	36	324
9:00～21:00	148	1,776
15:00～21:00	7	42
開館日数	262	2,710
休館日数	103	0

### ②職員数(図書情報課と情報推進課の合計)

職位 身分	館長	部長	課長	課員	計
専任	1	1	2(1)	9(3)	13(4)
派遣	-	-	-	2(2)	2(2)
臨時	-	-	-	8(3)	8(3)
計	1	1	2(1)	19(8)	23(9)

※カッコ内は司書資格を有している者の数で内数

### ③所管委員会

＜図書館運営委員会＞

・第 1 回

日時：平成 26 年 4 月 15 日(水) 15:00～

議題：1. 平成 26 年度「特別図書」選定の件  
2. 平成 26 年度「学科図書」取り扱いの件  
3. その他

・第 2 回

日時：平成 26 年 11 月 5 日(水) 14:00～

議題：1. 平成 26 年度特別図書選定の件  
2. 平成 27 年度特別図書申請の件

報告：1. 受入雑誌一覧の件  
2. 平成 26 年度蔵書点検の件

・第 3 回

日時：平成 27 年 1 月 14 日(水) 12:00～

議題：1. 図書館諸規程改正の件  
報告：1. 特別図書購入の件

＜情報化推進委員会＞

・第 1 回

日時：平成 27 年 1 月 7 日(水) 11:00～

議題：1. 2016 年度の業務系(教職員)グループウェアの導入に向けて必要な機能等の要望について  
2. メールサーバーの変更について  
3. ドメイン名の変更について

### ④部内研修

・第 1 回

日時：9 月 30 日(火) 14:30～

内容：「図書館アクションプラン 2015 の策定に向けて」

場所：図書館事務部内

・第 2 回

日時：1 月 23 日(金) 15:30～

内容：「電子学術書利用実験で考えてみた変化する大学・学生と図書館」

講師：慶應義塾大学メディアセンター本部

電子情報環境担当課長 入江 伸 氏

場所：ラーニング・コモンズ

### ⑤閲覧席利用者数(延べ)

単位：人

年度 月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
4 月	4,458	4,202	4,633
5 月	5,468	5,892	5,213
6 月	5,562	6,035	6,085
7 月	5,319	6,549	6,935
8 月	709	746	593
9 月	1,830	2,049	2,286
10 月	5,282	5,144	5,409
11 月	5,846	5,867	6,030
12 月	4,232	4,734	5,482
1 月	4,532	4,971	6,226
2 月	440	491	465
3 月	624	632	870
合 計	44,302	47,312	50,227

※入館ゲートを設置していないため、数字は定時の閲覧席利用者数である

### ④貸出冊数

単位：冊

年度 月	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
4 月	2,442	2,254	2,821
5 月	3,669	3,335	3,411
6 月	3,875	3,744	3,786
7 月	3,864	4,734	4,783
8 月	578	680	706
9 月	1,371	1,597	1,844
10 月	3,147	3,067	3,255
11 月	3,688	3,967	4,211
12 月	2,873	3,025	3,481
1 月	3,220	3,548	4,381
2 月	404	367	488
3 月	514	744	623
合 計	29,645	31,062	33,790

### ⑤図書館ツアー参加者数及び参加率

人数 学部	対象者	参加者	参加率	補講 出席者	不参加
仏 教	101	88	87.1%	4	15
人 間	506	477	94.3%	28	21
文	336	316	94.1%	7	15
表 現	242	236	97.5%	1	6
計	1,185	1,112	93.8%	40	57

### ⑥学科別ガイダンス

日程	時 限	担当教員	科目	学 年	人 数
4/14	2	柳 田 多 美	臨床心理学専門ゼミ	3・4	11
4/15	2	伊 藤 直 文 森岡由起子 井 潤 知 美	臨床心理学専門ゼミ	3	34

4/17	3	堀 口 修	応用研究	4	18
4/17	5	卯 月 研 次	臨床心理学専門ゼミ	3・4	19
4/18	3	大 屋 正 順	書道文化研究	2・3	3
4/21	3	柳 田 多 美	臨床心理学基礎ゼミ	1	22
4/22	3	米 澤 嘉 康	仏教学専門研究	3・4	8
4/24	2	西 郷 泰 之	ワークショップ	4	14
4/25	1	野 口 圭 也	仏教学基礎ゼミ	1	21
4/25	2	日 笠 摩 子	臨床心理学専門ゼミ	3	9
5/1	2	堀 聡 子	ワークショップ	3	11
5/1	3	梅澤亜由美 山 本 章 博	日本文学基礎ゼミ	1	30 30
5/8	3	山 内 洋	日本文学基礎ゼミ	1	26
5/8	5	木 内 堯 大	仏教学専門ゼミ	3・4	7
5/9	5	木 村 秀 明	仏教学専門研究	3	14
5/12	2	坂本智代枝	社会福祉学基礎ゼミ	1	60
5/12	6	宮 崎 牧 子	ソーシャルワーク研究法	M1	2
5/13	5	苔米地誠一	真言智山学専門研究	3	10
5/19	2	坂本智代枝	社会福祉学基礎ゼミ	1	40
5/23	1	高 橋 一 弘	プロジェクト研究	3	12
5/27	3	堀 内 規 之	真言智山学専門研究	3	13
6/10	1	松 本 一 郎	プロジェクト研究	3	11
7/1	1	沖 倉 智 美	プロジェクト研究	3	13
10/1	2	伊 藤 淑 子	異文化課題研究	3	24
10/16	3	滝 澤 和 彦	教育人間学基礎ゼミ	1	18
10/21	2	滝 澤 和 彦	教育人間学専門ゼミ	3	6
11/6	2	渡 邊 直 樹	ワークショップ	1	32
計					518

7/15	評論系同人誌・ミニコミ誌の世界 最終回：卒論にも使える!? ミニコミ誌のテーマの 作り方実践編	3
------	---	---

・木曜日 13:10～15:10 担当教員：小林惲道

日程	テーマ	人数
5/15	郷土の食べ物ー食文化を知ろうー	3
5/29	祭、まつり、フェスティバルーお祭について考えよう！ー	4
6/12	巡礼・お遍路の世界	3
7/3	盆踊りについて知ろうー曼荼羅絵解きと七夕短冊作りー	4
7/17	宗教と交通!? その意外な関係	3

・金曜日 14:50～16:50 担当教員：松野智章

日程	テーマ	人数
5/9	戦史や兵器を知って世界の理解を深めようー戦争ものの作品を正しく理解するためにー	5
5/23	トークトークー 哲学お茶会	5
6/6	ノンフィクションって何？ ノンフィクション作家に直接聞いてみよう	6
6/20	江戸時代の本を楽しむー昔の日本人が考えていたことを知るー	5
7/18	著作権を学ぼうー作品作りにおける処理の仕方講座	3
7/25	交渉と決断 3 ディプロマシー大会	9

・金曜日 14:50～16:50 担当教員：椎名一雄

日程	テーマ	人数
5/16	まだ間に合う!! 栄西展とキトラ古墳	4
5/30	博物館へ行こう!!	4
6/13	東京国立博物館特別展「台北 国立故宮博物院ー神品至宝ー」の魅力(前編)	2
6/27	東京国立博物館特別展「台北 国立故宮博物院ー神品至宝ー」の魅力(其の二)	2
7/11	夏休みにいきたい博物館!!	1

## ⑦ラーニング・コモンズ利用者数

年度 月	平成 25 年度	平成 26 年度
4 月	2,702	3,029
5 月	3,919	3,625
6 月	4,557	4,526
7 月	4,322	4,158
8 月	-	-
9 月	871	1,135
10 月	3,630	3,413
11 月	3,950	2,770
12 月	3,066	2,954
1 月	3,289	3,192
2 月	-	-
3 月	-	-
合 計	30,306	28,802

※ラーニング・コモンズは教務部学修支援課との共同運営である。

※長期休業期間中は、施設はオープンしているが、利用者数をカウントしていない。

## ⑧ラーニング・コモンズ レファレンス

・火曜日 14:50～16:50 担当教員：寺山賢照

日程	テーマ	人数
5/12	評論系同人誌・ミニコミ誌の世界 第 1 回：「好きなこと」を研究する人たち	3
5/27	評論系同人誌・ミニコミ誌の世界 第 2 回：入手法と情報収集ー評論系同人誌を楽しむためにー	4
6/11	評論系同人誌・ミニコミ誌の世界 第 3 回：卒論にも使える!? ミニコミ誌のテーマの 作り方	3
6/26	評論系同人誌・ミニコミ誌の世界 第 4 回：実践編 アイディアを生み出すトレーニング 方法について	0

## ⑨ショートプログラム

日程	テーマ	担当教員	人数
10/20	『憲法主義』を読む	吉田俊弘	5
10/20	加減乗除の百ます計算に挑戦	畠山仁男	0
10/22	『アナと雪の女王』を日本民俗学から見るー貴種流離・雪・異形ー	春日美穂	10
10/24	Museum Walker	椎名一雄	7
10/27	『池上彰のやさしい経済学』を読む	吉田俊弘	8
10/27	加減乗除の百ます計算に挑戦	畠山仁男	0
10/28	外国人に日本語を教えるとは？	近藤裕子	12
10/28	パブリックスピーチ(人前で話す技術)	高橋若木	7
11/11	パブリックスピーチ(人前で話す技術)	高橋若木	5
11/5	まんがの中の古典ー『あさみゆめみし』紫の上臨終場面を中心にー	春日美穂	0
11/5	世界遺産から学ぼう	小林惲道	2
11/6	デカルト『方法序説』を読む	松野智章	2
11/7	「建学の精神」を就活に活かす	齋藤知明	4
11/18	パブリックスピーチ(人前で話す技術)	高橋若木	5
11/7	Museum Walker	椎名一雄	4
11/11	留学生から見た日本を知ろう！	近藤裕子	23
11/12	仏教雑誌に触れてみよう！	寺山賢照	1
11/13	デカルト『方法序説』を読む	松野智章	2
11/18	日本の伝統芸能にふれる(能・歌舞伎)	由井恭子	7
11/14	「建学の精神」を就活に活かす	齋藤知明	4
11/19	世界遺産から学ぼう	小林惲道	2
11/20	デカルト『方法序説』を読む	松野智章	0
11/21	Museum Walker	椎名一雄	5

11/26	仏教雑誌に触れてみよう！	寺山賢照	3
11/27	デカルト『方法序説』を読む	松野智章	1

## ⑩知的書評合戦ビブリオバトル

日程	バトルテーマ	人数	備考
4/28	フリー	6	
5/26	みどり	5	
6/18	フリー	7	
6/30	誰かに借りたい本	4	
7/16	フリー	4	
7/27	夏(オープンキャンパス特別編)	9	入試課主催
8/23	旅(オープンキャンパス特別編)	4	入試課主催
10/1	フリー	5	
11/2	泥にまみれた青春	4	鴨台祭実行委員会主催
11/3	白	4	鴨台祭実行委員会主催
11/12	アート	5	
12/10	むかし	4	
1/14	「教育」にまつわる本	4	

## ⑪データベースアクセス数

データベース名	同時 アクセス数	学外 アクセス	平成24年度		平成25年度		平成26年度		備考
			実績	ビジー	実績	ビジー	実績	ビジー	
CiNii (国立情報学研究所)	フリー	○		-		-		-	集計対象外
MAGAZINE PLUS	2	×	1,289	-	1,305	-	895	-	
大宅壮一文庫	2	×	222	-	198	-	122	-	
ヨミダス歴史館(読売新聞)	4	×	6,040	724	8,550	403	5,731	339	
聞蔵Ⅱ(朝日新聞)	4	×	2,734	1,127	2,925	505	2,277	198	
毎索(毎日新聞)	2	×	938	629	930	253	915	200	
日経テレコン	1	×							カウンター代行検索
JAPAN Knowledge+	フリー	×	1,011	226	1,760	714	5,516		H25年度までは同時アクセス数4
Britannica Online Japan	フリー	×	3,135	-	1,673	-	1,168	-	Documents、Queries、Mediaのヒット数で集計
BOOK PLUS	1	×	191	-	363	-	208	-	
SocINDEX	フリー	○	1,741	-	525	-	585	-	
PsycINFO(1840-Current)	フリー	○							
Humanities International Complete	フリー	○							
Psychology and Behavioral Sciences Collection	フリー	○							

※「ビジー」は、契約数を超えてアクセスがあった数である。

## ⑫資料受入状況

受入区分	資料 区分	和書		洋書		合計	
		冊数	価額	冊数	価額	冊数	価額
①資料購入(含 学科)・特別図書	図書	8,843	42,627,317	821	15,054,854	9,664	57,682,171
	雑誌	99	3,751,858	34	1,390,360	133	5,142,218
②登録製本(購入・寄贈・交換)	図書	0	0	0	0	0	0
	雑誌	835	1,692,500	157	306,150	992	1,998,650
③寄贈	図書	13,871	31,475,296	194	420,805	14,065	31,896,101
	雑誌	4	12,550	9	52,272	13	64,822
④配置転換	図書	0	0	0	0	0	0
	雑誌	7	119,070	0	0	7	119,070
⑤自館作成	図書	0	0	0	0	0	0
	雑誌	0	0	0	0	0	0
⑥数量校正	図書	0	0	0	0	0	0
	雑誌	0	0	0	0	0	0
⑦帳外受入	図書	0	0	1	11,007	1	11,007
	雑誌	0	0	0	0	0	0
⑧その他	図書	0	0	0	0	0	0
	雑誌	0	0	0	0	0	0
⑨除籍	図書	△ 23,349	△ 78,852,844	0	0	△ 23,349	△ 78,852,844
	雑誌	△ 82	△ 292,910	0	0	△ 82	△ 292,910
小計	図書	△ 635	△ 4,750,231	1,016	15,486,666	381	10,736,435
	雑誌	863	5,283,068	200	1,748,782	1,063	7,031,850
合計		228	532,837	1,216	17,235,448	1,444	17,768,285

## ⑬蔵書数

年度	和書		洋書		合計	
	冊数	価額	冊数	価額	冊数	資産額
平成25年度	579,425	2,721,713,372	98,951	785,922,624	678,376	3,507,635,996
平成26年度	579,653	2,722,246,209	100,167	803,158,072	679,820	3,525,404,281